

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

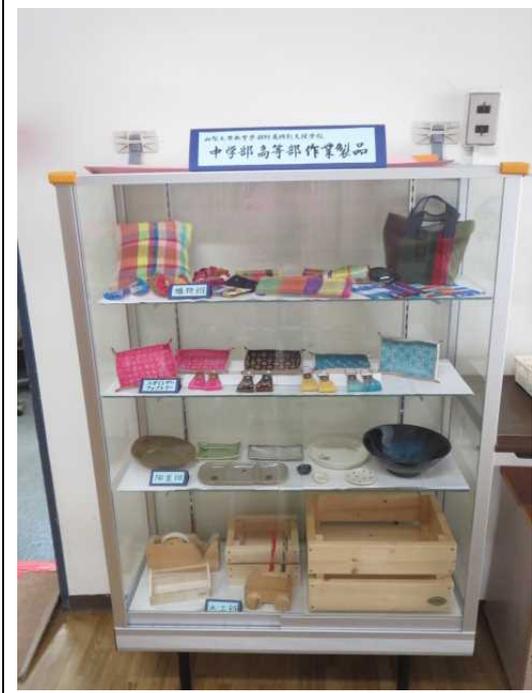
報告日	平成 30 年 2 月 23 日
学校名	山梨大学教育学部附属特別支援学校
PTA 会長名	大塚 茂

実施概要	実施活動名	きりの子バザール
	実施日時	平成 30 年 2 月 8 日(木)
	実施場所	本校体育館
	実施目的	製品販売やバザーを通して、支え合いや共生の精神を学ぶとともに、自立と社会参加への意識を高める。地域の方々との交流活動を通して、本校への理解を深めてもらう。
	実施内容	本校生徒による作業学習製品販売 福祉施設からの出店販売 PTA バザー きりの子バザール実行委員会設置 実行委員会による企画・運営
	実施方法	中学部及び高等部の作業学習の製品販売会と PTA バザーを共催し、そこに県内の福祉施設の出店を合わせて行う。開催ポスターを作成して学校周辺に掲示したり、交流先の学校や団体などに案内状を送ったりすることで、多くの方々に本校の教育活動を知らせ、理解していただく機会とする。
参加人数	本校:全校児童・生徒 49 名 教師・40 名 教育実習生・9 名 保護者・約 50 名 福祉施設の方々:約 40 名 大学関係者及び学校近隣の方々、交流先の学校の教師・生徒等:約 40 名	

告事項	内容	<p>中学部及び高等部の作業学習の製品販売会と PTA バザーを共催し、そこに県内の福祉施設の出店を合わせて行った。開催ポスターを作成して学校周辺に掲示したり、交流先の学校や団体などに案内状を送ったりして、多くの方々に本校の教育活動を知らせ、理解していただく機会となるよう取り組んだ。</p> <p>製品を広く多くの方に知っていただくための事前の取り組みとして、正面玄関にショーケースを設置して製品を展示して来校者に見ていただいたり、高等部では山梨中央銀行とヴァンフォーレ甲府への製品寄贈や山梨大学構内及び本校に隣接するパン販売店での製品展示・販売の企画を行ったりした。</p>
	結果	<p>地域の方々に本校の学習活動について知っていただく機会として、中学部及び高等部の作業学習作業班の製品を販売した。作業製品を作るだけでなく、値段付けや袋詰め、看板作り、販売・接客練習などの活動を通して開店準備を進めてきたので、販売会では積極的に活躍する生徒の姿が多く見られた。また、きりの子バザール実行委員会を組織して活動することで、生徒が中心となって当日の運営を行ったり、開催ポスターを作成して地域の方々への宣伝活動を行ったりすることができ、より主体的な取り組みにつなげることができた。</p> <p>販売会当日は、大勢の方々にご来場いただき、昨年度同様に大盛況であった。製品販売やバザーを通して、保護者を始め施設や地域の方々、交流校の生徒とも、より交流を深めることができた。参加された方々からは、活動や製品に対する好意的な感想を多数いただき、生徒たちにとっても、大きな自信や励みになった。また、山梨日日新聞の取材を受け、電子版で紹介されたことで、本校の活動の様子を広く知っていただくことができた。</p> <p>山梨中央銀行とヴァンフォーレ甲府への製品寄贈についても山梨日日新聞でも記事として取り上げられ、本校の活動について全県下に発信する機会となった。大学構内及びパン販売店における高等部の製品展示・販売については日程の調整まで行ったが、先方の都合により実施は先送りとなった。来年度の実施に向けて取り組みを継続していきたい。</p>
	所感	<p>作業製品販売会を通して、来校された方から新聞記事を読まれた方まで、多くの方々に本校の児童生徒の様子や学習活動について知っていただけたことは、生徒理解という面から大変有意義な機会であったと言える。中学部・高等部の生徒たちにとっても、1年間の学習の成果を校内外の多数の方々に見ただけの貴重な発表の場であった。また、今年度も、保護者や地域の方々から好評を得ることができたため、今後も継続していきたいと考える。</p>

添付書類





カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月23日
学校名	山梨大学教育学部附属特別支援学校
学年	中・高等部全学年

○中学部生徒の感想

- ・今日はきりの子バザールがありました。買い物をしたり、販売で会計係をしたりしました。計算を間違えないでできました。楽しい1日でした。
- ・今日はきりの子バザールをしました。会計係をがんばりました。お買い物をしました。コーラとコースターを買いました。カレーパンも買いました。
- ・今日はきりの子バザールをしました。袋詰め係をやりました。買い物でリボンと香り袋とクッキーとココアを買いました。
- ・今日はきりの子バザールをやりました。私は今朝から緊張しましたが、楽しかったです。
- ・中学部の製品がたくさん売れて良かったです。でも売り切れなかった製品もありました。全部売りたいかったです。
- ・お客さんが大勢来ていました。がんばりました。
- ・高等部の先輩が製品を褒めてくれたり、販売の仕方をアドバイスしてくれたりして、うれしかったです。

○高等部生徒の感想

- ・接客で大きな声を出して呼びかけました。たくさんお客さんが来てくれて嬉しかったです。
- ・班のみんなで協力して頑張りました。
- ・新商品に人気があり、たくさん売れて良かったです。
- ・喜ばれる製品を考えて作ることが出来ました。
- ・お客さんの笑顔でやる気になりました。
- ・仲間のおかげで頑張ることが出来ました。
- ・仕事を頑張ることができた。
- ・お客さんが喜んでくれてうれしかったです。
- ・三年間の学習の集大成として頑張ることができた。今までの中で最高の思い出になった。
- ・お客さんがたくさん来てくれて、いろいろな感想を聞くことができた。感想をこれからの製品作りに生かしていきたい。
- ・新聞社の取材が来てくれてよかった。きりの子バザールの様子をいろいろな人に知ってもらうことができた。
- ・みんなと協力できて達成感が感じられた。たくさんのお客さんの笑顔が見られて、よいバザールだった。

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日 平成30年2月23日

学校名 山梨大学教育学部附属特別支援学校

○保護者等の感想

- ・今日はいよいよバザール当日なので、本人も気合いが入っていて、「がんばるからね。」と言っています。（朝の連絡帳より）
- ・中学部3年間の積み重ねが花開いた1日だったと思います。会計係を笑顔でがんばっている様子が見られて成長を感じました。革細作業も最後だと思うと寂しくなりますが、高等部での作業につながる学習だったと思います。高等部に進学しても仲間と協力し、目標を達成する喜びをかみしめてほしいと思います。
- ・高等部の織物班の製品を娘が好きそうだと思って買いました。何か持ち物につけたいと思います。しおり、キーホルダーと2つあった革製品は妹にプレゼントしていました。また、事業所の販売で購入した草餅を食べながら、「今年で最後の草餅だ。」と高等部では販売のみということも意識していたようです。
- ・会計の様子を見られてほっとしました。本人なりにがんばっていて、安心しました。革製品も昨年よりクオリティーが高くなっていてびっくりしました。
- ・今年が一番落ち着いて中学部の仕事もできているようでしたし、買い物に回っている姿も見かけましたが、周りがよく見えている様子で安心しました。3年生のお子さん達がみんなそれぞれに自信をもって活動しているように見受けられました。
- ・品数が多くて驚きました。
- ・どの作品もしっかりと作っており、心を込めて作った感じが伝わってきました。
- ・製品の出来具合も、接客の笑顔もとても良かったです。一年間の学習の集大成としての成果を感じました。
- ・たくさんのお客さんが集まっていて驚きました。
- ・欲しかった製品が売れてしまっていて残念でした。盛況ですばらしいです。
- ・製品を買って使うのが楽しみ。
- ・子どもを褒めてあげる機会ができた。子どもは製品の話を楽しそうにしていた。
- ・子どものがんばっている姿を見て嬉しかった。
- ・一人一人のがんばりが伝わる良いバザールでした。
- ・高等部や作業班の一員としてのがんばりが見られてよかった。
- ・毎年新しい製品が出ていて、驚いています。